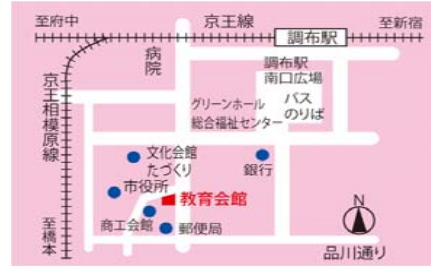


第4回市民サロン開催のお知らせ

マスタープランの見直しについて、自由参加形式により参加いただいた方々で話し合いを進めます。市民の方であれば参加は自由ですので、お気軽にご参加ください。

■会場案内図
※お車でのご来場はご遠慮ください。



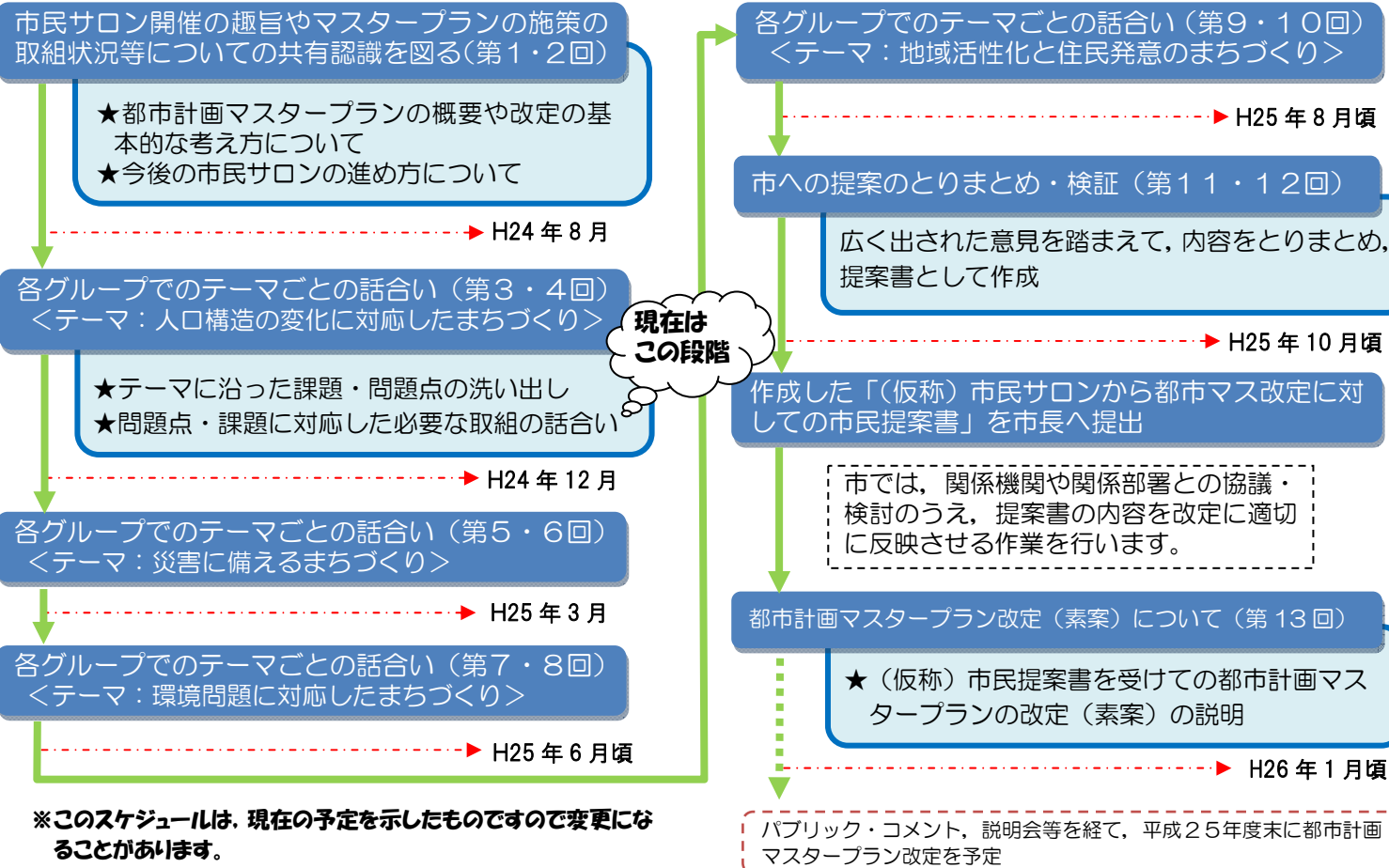
日程 平成24年12月12日(水)午後7時から
場所 調布市教育会館 2階201・202会議室
主要内容 人口構造の変化に対応したまちづくりをテーマとした話し合い(後半)

～第4回市民サロンの進め方～

第4回市民サロンでは、第3回で話し合った「人口構造の変化に対応したまちづくり」に関する課題や問題点について、解決するためにはどのような取組が必要か、何を強化すべきなのかといったことについて、グループごとに話し合います。



☆市民サロンの今後の予定☆



※このスケジュールは、現在の予定を示したものですので変更になることがあります。

■ 調布市では、マスタープランの見直し作業の過程等について、このニュースでわかりやすくお知らせしていきます。
発行 調布市都市整備部 都市計画課 都市計画係
Tel: 042-481-7453 Fax: 042-481-6800 mail: tikubetu@w2.city.chofu.tokyo.jp

登録番号
(刊行物番号)
2012-157

調布市 都市計画マスタープラン 見直しニュース 第4号

平成24年11月30日発行

調布市では、長期的・総合的な視点から今後の都市計画の指針となるものとして平成10年に策定した「調布市都市計画マスタープラン」の見直し・改定に向けた取組を進めております。

第3回都市計画マスタープランを考える市民サロンを開催しました!

マスタープラン改定に向けて、第3回市民サロンを10月31日(水)午後7時から開催しました。当日は15人の市民の方にご参加いただき、多くのご意見をいただきました。

～当日のプログラム～

1. 調布市からのあいさつ

2. 説明の部(調布市からの説明)

○ 第2回市民サロンの振り返りと今後の進め方について

前回の振り返りとして、第2回市民サロンでいただいたご意見の概要を紹介し、それらの意見を踏まえて、今後の市民サロンの進め方と平成25年度末を予定しているマスタープランの改定までのスケジュールについて説明をしました。

【市民サロンで検討するテーマ】

○ 市民サロンで話し合うテーマについて

今後の市民サロンでは、近年の社会情勢の変化等をもとに、大きく4つのテーマについて、グループに分かれて意見交換を行います。テーマを基軸にして、道路や公園、商業環境、公共交通などの市民生活を取り巻く環境について、それぞれの観点から話し合いを進めていきます。

1つのテーマについて、2回の市民サロンで話し合いを行い、市への提案として取りまとめることを予定しています。

テーマ①
「人口構造の変化に対応したまちづくり」

テーマ②
「災害に備えるまちづくり」

テーマ③
「環境問題に対応したまちづくり」

テーマ④
「地域活性化と住民発意のまちづくり」



3. サロンの部(グループによる話し合い)

第3回市民サロンは、「人口構造の変化に対応したまちづくり」をテーマとする話し合いの1回目(前半)として、関連する指標やまちづくりの動向に関して、市から説明した後にグループごとの意見交換を行いました。

※当日の話し合いの内容は、中面をご覧ください。

Aグループ

■グループによる話し合いの様子



関連分野	関連する施策	主なご意見
交通	自転車道路や市内を周遊できる散歩道の整備	・武蔵境通りの自転車通行帯は守られているのか。歩行者が安全に歩くためにも、通行帯を歩道側に設けるよりも車道側に設けるような工夫も必要。
環境	公園・緑地の保全、整備	・公園以外でうるおいのある空間を把握することが重要ではないか。畑なども公園に準じる空間として考えてもいいかもしれない。
防災	避難・救援施設等の確保	・地域の人口に応じて避難所が適切に指定されているのか。避難所は足りているのか。
住環境	快適な生活空間の形成	・気軽に散歩でき、気持ちの休まる空間は、高齢者だけでなく、子ども連れにも大切な空間になる。
住環境、景観	魅力ある街なみ・都市景観づくり	・記憶のある街並み、風景を残すことが大切。道が狭いからといって広げるだけではなく、いまの街並みを残していくことも重要。
住環境、地域活性化	コミュニティの核としての商店街の育成	・地域の商店街は、高齢者にとっても、子育てをする世代にとっても身近な買物をする場所として重要だが、利用客が減っている気がする。

Bグループ

■グループによる話し合いの様子



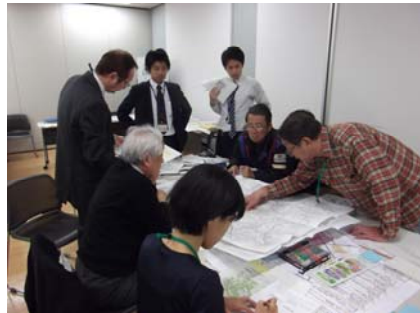
関連分野	関連する施策	主なご意見
交通	道路整備や交通規制等による回遊性の確保	・旧甲州街道は、身近な買物ができる店舗が少なくなっている。買物に来る人だけでなく、誰もが安心して歩けるための対策を図るとともに、沿道の商店街を生かしたまちづくりが必要。
	自転車道路や市内を周遊できる散歩道の整備	・多くの道路は、両側に歩道があるが幅員が狭いところもあり、電柱も邪魔になっている。子どもを乗せた自転車が歩道を走るので、歩行者には危険である。
環境	公園・緑地の保全、整備	・高齢化が進むにつれて、大きな公園だけではなく、身近な小さな公園や広場など高齢者が出かける場所を増やしていくことが必要。
住環境、地域活性化	多世代、多様な世帯構成の集住に関する工夫	・大規模な共同住宅の建替えについて、高齢者対応や子育てを支援する施設などを併設するなどし、多くの世代が住むようになると良い。特に若い世帯が入居するような工夫が必要。
	コミュニティの核としての商店街の育成	・身近な買物ができる商店街も大切であり、そのような場所が高齢者の憩いの場やコミュニケーションの場となる。

第3回市民サロンの様子

～市民サロンでいただいたご意見を紹介します～

Cグループ

■グループによる話し合いの様子



関連分野	関連する施策	主なご意見
交通	公共交通等の充実	・若い世代と高齢者だと目的地も異なる。属性に応じた公共交通のあり方の検討も必要。
	都市計画道路の整備	・現在、つつじヶ丘駅の南までとなっている品川通り（調布都市計画道路 3・4・10 号線）は世田谷に向けて延伸する計画だと聞いている。国分寺崖線の緑地や住宅をつぶしてまで計画されているが、十分な検討が必要。
福祉	車道との段差の解消	・市内の道路は全体的に歩道整備が進んでなく、歩道に段差があり自転車や車いす等の通行が困難。
防災	地域の特性に応じた市街地の整備	・避難所が指定されているが、避難経路の中で、崖地で危険な箇所や歩道が狭いところなど多くあるため整備が必要。
住環境、地域活性化	産業振興と連携したまちづくり	・子育て世帯や若者などが住みたくなる街をどう作るかということが今後の重要な課題である。 ・高齢者は日常の買い物を近隣ですることが多い。近いところに商業施設があることが重要。

Dグループ

■グループによる話し合いの様子



関連分野	関連する施策	主なご意見
交通	公共交通等の充実	・コミュニティバスは経路が限られているため、経路がなく近くにバスが通っていない地域の方は不便なのではないか。
	駅前広場の整備	・現在の調布駅周辺は、歩道が狭く自転車や歩行者が混ざり合い、歩くのにも困難で危険である。
環境	水環境の安全性の確保	・調布市の下水道は合流式であるため、大雨が降ると野川に下水を放流してしまう。その時、未処理の汚水も一緒に流れてしまう。住環境に悪影響である。
福祉	広場や公園などをふれあいの場として整備	・仲間ができるような公園やウォーキングができる道路など、自然に集まれるような機会と場所があると良い。
	車道との段差の解消	・歩道と車道の段差が2cmでも車いすを利用する方にとったら進みづらい。
防災	避難施設のバリアフリー化	・避難所に指定されている小中学校のバリアフリー化は是非進めて欲しい。